

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	電子工学実験第三		
英文授業科目名	Electronic Engineering Laboratory III		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	3
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	E 全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
higuchi@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
電子工学の専門的な実験項目を各週で行い、データの収集・整理などの一連の作業を通して工学的な実験のセンス、手法を身につける。また、レポートの書き方およびプレゼンテーションの方法を学ぶ

【前もって履修しておくべき科目】
電子工学実験第一、第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
関係資料は授業開始のガイダンスの際に配布する。実験指導書は購入する(購入方法はガイダンスの際に説明する)

【授業内容とその進め方】
<p>実験課題には次のような5つの課題があり、このうち3つの課題を受講する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電子デバイス MOS構造の作製と評価 半導体特性評価 ホール効果と太陽電池 2. 光エレクトロニクス 3. 信号処理と制御(基礎信号処理) 4. 波動工学(マイクロ波)

電気通信大学 平成18年度シラバス

5. マイクロコンピュータの構造と動作

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

すべての実験日に出席し、すべてのレポートを期限内に提出することが成績評価の最低条件である。さらに、レポートの内容、提出の遅れ、遅刻早退を総合して成績を評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

実験時間中に積極的に質問してください。また、実験指導員（掲示等で連絡します）に電子メールで連絡してください

【学生へのメッセージ】

上記5つの課題のうち指定された3つの課題を4週ずつ連続し、計12週にわたり実験を実施していく。各自、各課題毎にレポートを提出する。電子工学実験第三の内容は専門的な実験が多く、電子工学実験第一、第二との関連、さらに専門科目の授業と密接に関連するので、講義内容を十分理解しておくことが実験を進める上で重要となる。また、レポートを書き、それを期限内に提出するという決められたルーチンを守る心構えも大切である。

【その他】